

# インフラ整備完了で住みたい街へ！！

- 当麻宿地区は、さがみ縦貫道路相模原愛川インターチェンジ周辺地区という立地特性。
- 産業を中心とした複数の都市機能による環境と共生した「新たな都市づくりの拠点」を形成するため、**市街化調整区域を市街化区域へ編入**(約35.0ha)し、まちづくりエリアには**下水道を整備**。
- 衛生的な住環境を提供することで、**街の魅力を上**し、**居住人口の増加**を図る。

エリアの一部(当麻産業拠点地区)では、

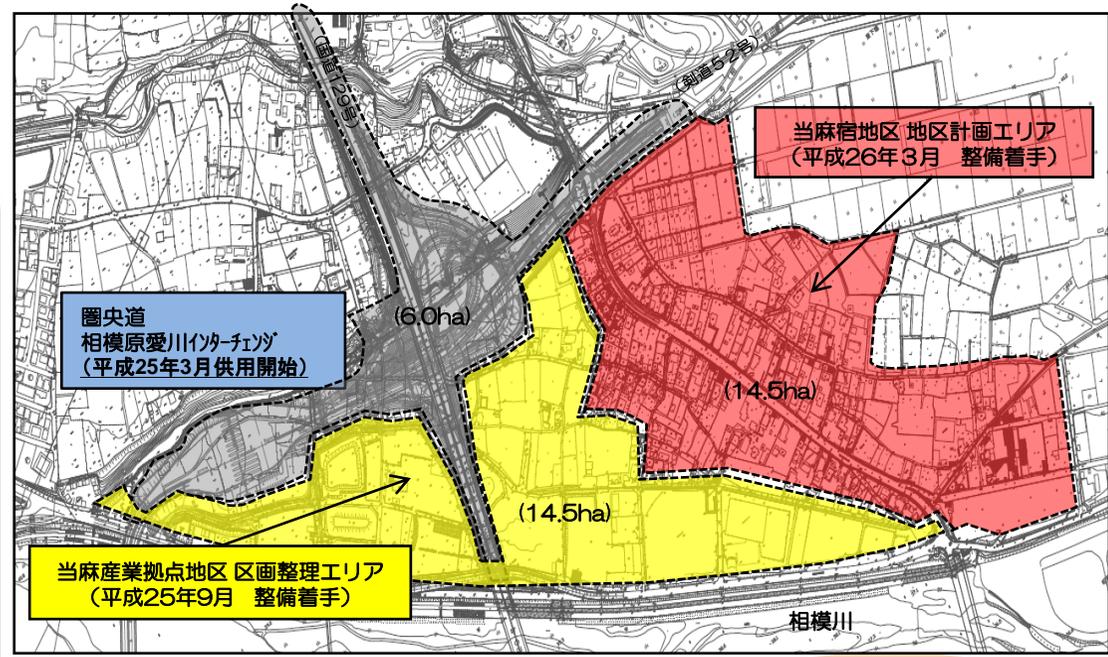
**土地単価 43,000円/m<sup>2</sup> ↑**

**宅地総価格 約30億円 ↑**

(H24時点と下水道事業及び区画整理事業完成予定のH32時点の土地評価額との比較)

下水道の整備を含むインフラ整備によって、

**土地の魅力アップが始まっている！**



人口約7,000人  
(麻溝地区公民館区域内)

**6,800人の増加**  
(相模原市下水道基本計画より)

**13,800人**  
**【H42完了予定】**